



クロス・レター

第48号

旭川赤十字病院広報委員会 発行

健診センター新オプション ～アミノインデックスとは～

血液中のアミノ酸濃度バランスから、さまざまな疾病リスクを1回の採血で評価します。長年の研究で、疾患特有の血液中のアミノ酸濃度バランスを持つことがわかっています。

検査

アミノインデックス®リスクスクリーニング (AIRS®)

アミノインデックス®
がんリスクスクリーニング
(AICS®)

アミノインデックス®
生活習慣病リスクスクリーニング
エー・アイ・エル・エス
(AILS®)

現在がんである可能性

AICS (胃)、AICS (肺)、
AICS (大腸)、AICS (膵臓)、
AICS (前立腺)、AICS (乳腺)、
AICS (子宮・卵巣)

10年以内に脳卒中・ 心筋梗塞を 発症するリスク

AILS (脳心疾患リスク)

4年以内に糖尿病を 発症するリスク

AILS (糖尿病リスク)

現在認知機能が 低下している可能性

AILS (認知機能低下)

血液中の必須・ 準必須アミノ酸の低さ

AILS (アミノ酸レベル)

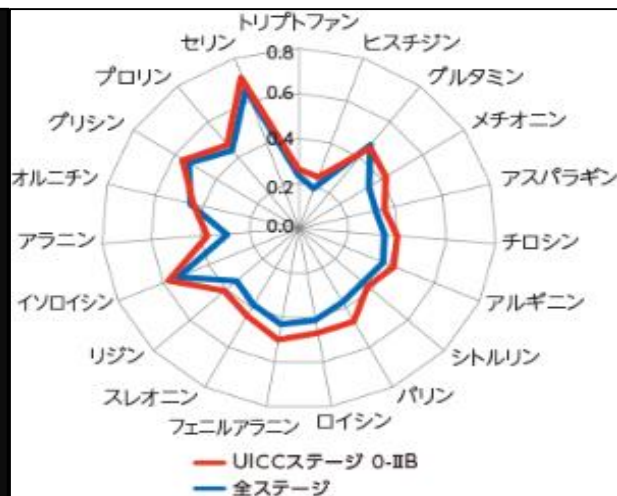
オプション価格

25,000円

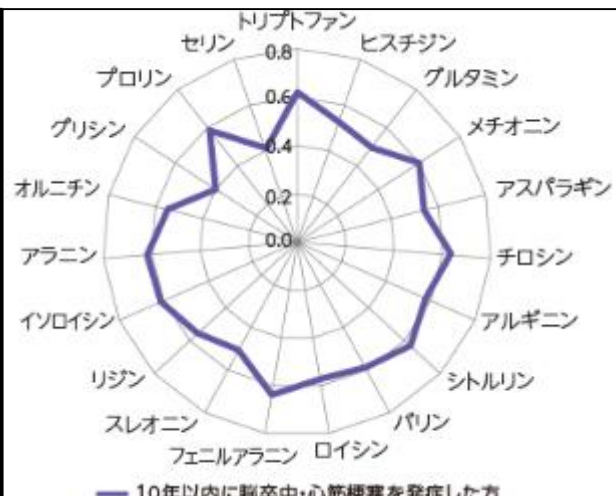
健康な人(例)



膵がんの方

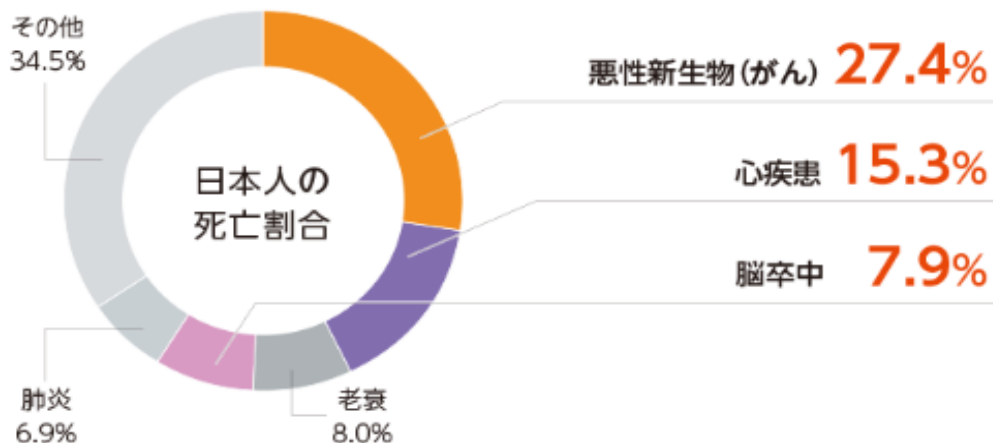


脳卒中・心筋梗塞の方



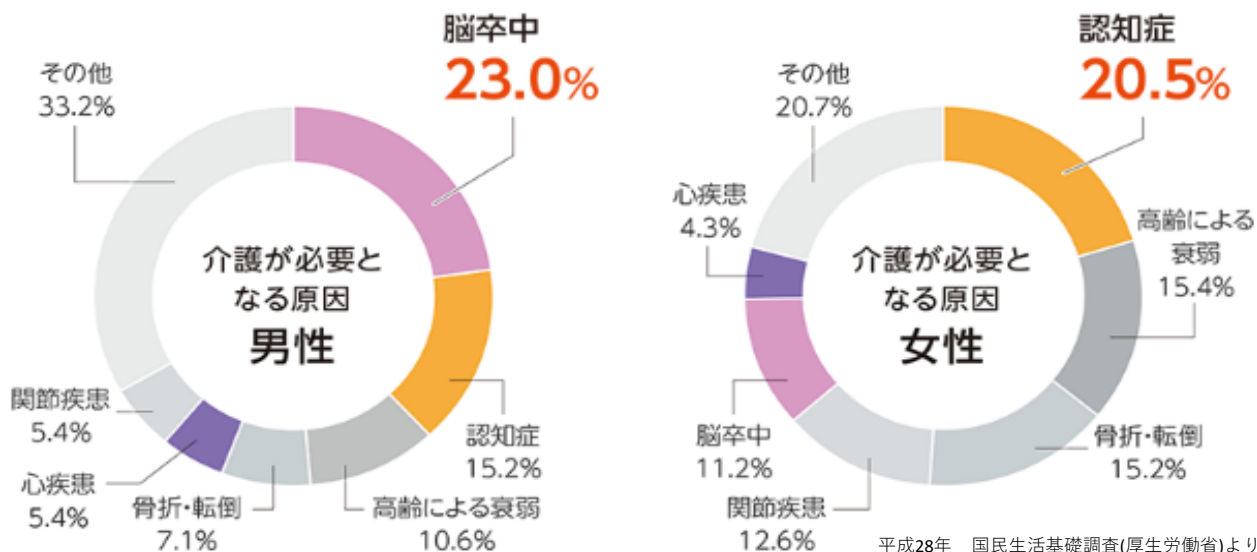
日本の疾病事情

「がん」、「脳卒中」、「心疾患※」の三大疾病は、
日本人の死因の全体の**50.6%**を占めています。



※高血圧性のものを除く。急性心筋梗塞、心筋症、心不全などを含む。
平成30年 人口動態統計月報年計(概数)の状況(厚生労働省)より作成。

65歳以上の方で介護が必要となった原因として最も多いのは
男性では「**脳卒中**」、女性では「**認知症**」です。



平成28年 国民生活基礎調査(厚生労働省)より作成

早期段階で発見されれば、がんの相対生存率は高くなります。
また、脳卒中・心疾患・糖尿病・認知機能低下を予防するためには、
運動や食生活などの生活習慣の改善が大切です。
興味がございましたら、当院健診センターへお問い合わせください。

【地域の皆様へ】

当院は地域と連携し救急患者を夜間、休日または深夜を含む24時間診療することのできる体制を整えております。
担当医師は正面玄関啓示にてご確認下さい。